

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

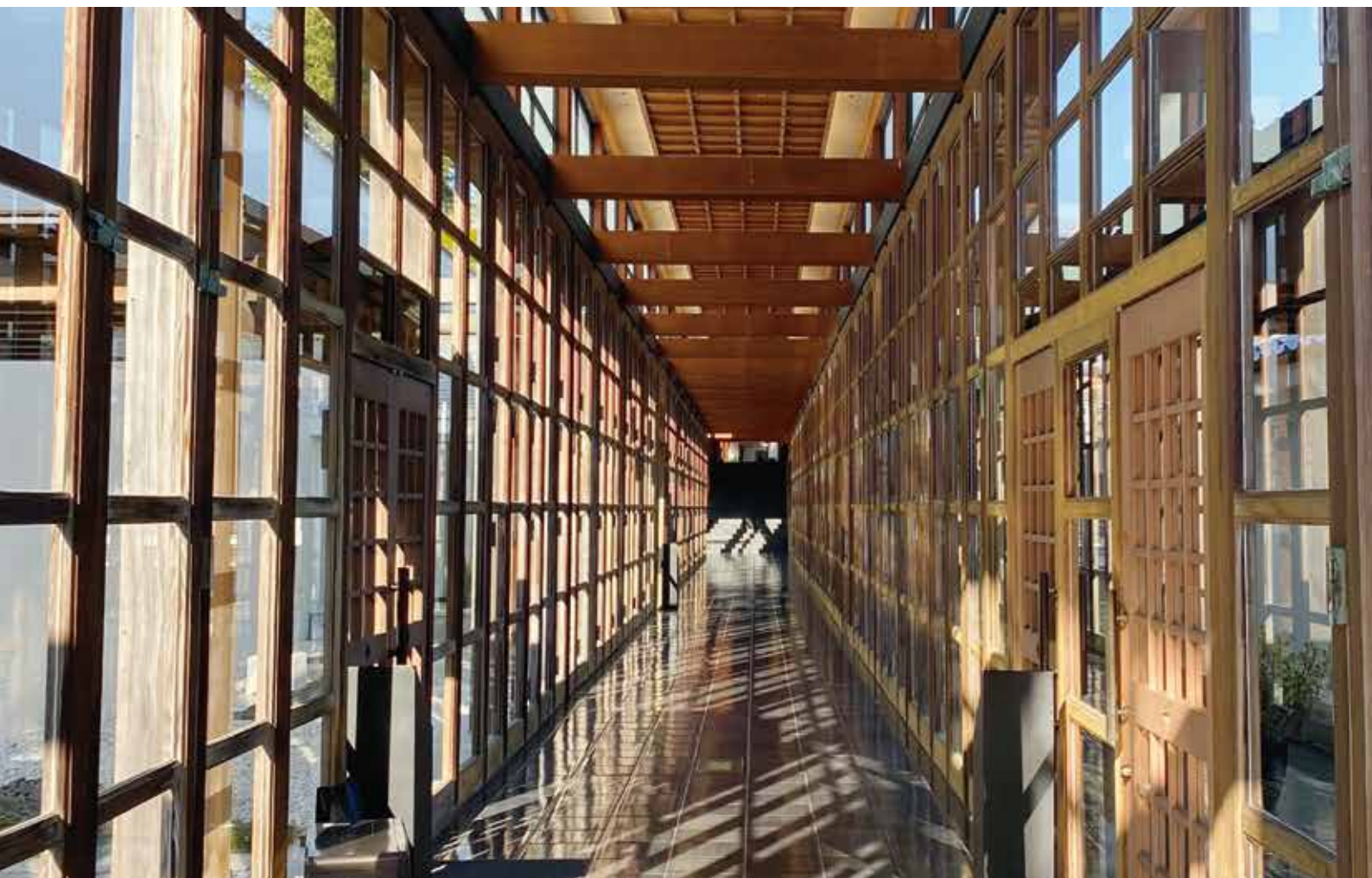
<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



5

May, 2023
vol. 444

無印良品が考える空間づくり～特集スタート



Contents

特集 無印良品が考える空間づくり	01
建築探訪 (～駅舎を風が通り抜けていく～)	03
特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館	05
委員会活動報告(「住・緑・家」特別委員会 講習会・見学会)	07
賛助会だより	09
支部のページ(川崎支部・湘南三浦支部・秦野支部)	11
編集者のつぶやき(諏訪大社)	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

特集 無印良品が考える空間づくり



第1回 MUJI BASE 光が丘

株式会社良品計画 空間設計部 喜多見 智子

良品計画空間設計部では、店舗のデザインはもちろんですが、企業や自治体、個人のお客様の空間をデザインしています。そのコンセプトは

①一緒につくる

クライアントとディスカッションを繰り返し、困り事やアイデアを引き出し、一緒になって答えを探します。

②自然素材を使う

その素材とは「もく」「きん」「ど」つまり、木、金（鉄）、土です。

③完成させない空間づくり

空間づくりは、出来上がった時が終わりではありません。いつまでも、空間への提案は続きます。

空間が大きくても小さくても、このコンセプトに変わりはなく、「空間をつくる企画」「インテリアデザイン」「リフォーム」「商品開発」を行っています。

そのような話をこれから6回に渡って、連載させていただきます。第一回目は、空間をつくる企画の話として、良品計画の研修施設、MUJI BASE光が丘の事例を取り上げます。

2018年、MUJI BASE光が丘は、元福祉施設をリノベーションして出来ました。そもそも無印良品は、消費社会へのアンチテーゼとして生まれ、現在も社会課題を自分たちの切り口でどう解決していくか、どう取り組んでいくか、ということ、常に真剣に考えています。まちの中の空きスペースをどのように活用するかを考え、空間づくりを通して地域を盛り上げる。そんな試みが、このプロジェクトでは行われました。結果として元福祉施設は、MUJI BASE光が丘という社員の研修施設として新しい空間に生まれ変わりました。そして、ここはただの研修施設ではない「地域に貢献できる研修施設」であることを目指しました。それゆえ、研修施設にする事が決まっからは街歩きをし、地域の情報収集をしました。

この中で見えてきたこと、聞こえてきたことは、この地域は大規模な集合住宅地で福祉施設や公園も多く、子供の声が多く聞こえる地域で「集まって過ごす場所がほしい」というような前向きに地域の方と交流する機会を求めている声や、「大きな地震があったとき、避難に苦労した」といった体験談も多くうかがったと聞いています。そこでMUJI BASE光が丘のコンセプトは、街全体を“自分の住まう空間”と捉え、空間づくりを通じて地域を活性化していく場にすることを目指しました。どのようにしたかと申しますと竣工後は、地域みなさんと良品計画の社員が話し合う機会を“お茶の間会議”と称し、ワークショップを開催しました。団地でくらすみなさんに、食材を持ち寄り、料理をつくる活動なども行いました。

※コロナ禍では、限られた社員に用途を限っています。

空間づくりの面ではMUJI BASE光が丘はDIYを取り入れ、社員の手で作る参加型のリノベーションを行いました。そしてここは、今でも、いつも実験の場でもあります。



日本の木をあますところなく使うために作られた木板、中空パネルを使ったキッチン。



合板パネル素地のまま使って作った家具・造作。無印良品の商品を試せるシェアストックや大テーブル。



最近は無印良品オリジナルカラーの土から作ったペイントの試し塗りもしました。

このような取り組みを通して空間を作っていくのが私たち良品計画空間設計部の仕事です。作って終わりではない、地域の課題と消費者目線で向き合いながら共に空間を作っていくことをあきらめずに、常に取り組んでいます。

～駅舎を風が通り抜けていく～

ソシオ・アーキテクト 小林 幸一

♪見覚えのあ～る♪レインコート♪黄昏の駅で胸が震えた♪竹内まりやの名曲＜駅＞。駅にまつわる曲を探すと、あゝ上野駅／井沢八郎、浪漫鉄道(蹉跎篇)／谷村新司、有楽町で逢いましょう／フランク永井、桜木町／ゆず、なごり雪／イルカ、終着駅／奥村チヨ、ホームにて／中島みゆき、雨のステーション／松任谷由実・……。

恋人を待つ彼女、友人の出迎え、家族の送迎など。出会いと別れ、故郷への郷愁、まちの中心だったり、駅にはたくさんの日常と非日常が交差してきました。そうだ、昔、駅には伝言板なんてありましたね、懐かしい。

昨年、我が国が鉄道開業150年を迎えました。今回は鉄道の駅舎にスポットをあて、皆さんと共に懐かしさに思いを馳せていきます。

国の重要文化財に指定されている駅舎は、東京駅(2003/5/30指定)、門司港駅(1988/12/19指定)、旧大社駅(出雲大社参詣の表玄関だった駅で現在は廃線、2004/7/6指定)の3駅舎だけだそうです。しかも現役の駅舎は、東京駅と門司港駅だけ。ここでは身近な東京駅はさておき、鉄道駅として最初に重要文化財に指定されたレトロ満載の門司港駅をご紹介します。

僕自身この駅舎には3回ほど訪れました。約10数年前の改修前に1度、改修後に2度。たまたまは、左右対称、威風堂々、荘厳。正面から眺めていると、戦前、戦後の混乱期に多くの人達がこの駅舎を行き交う光景が、セピア色で蘇ってきます。

建物の詳細な歴史については、末尾の参考資料にてご参照いただきたいと思います。建物の概略については、大正3(1914)年に二代目の門司駅として現在の場所に移転新築され、その後関門トンネルの完成に伴い、昭和17(1942)年に門司港駅と改称し現在に至るとのことです。

所有者は、日本国有鉄道を経て、昭和62(1987)年4月に九州旅客鉄道(株)の所有となっています。駅舎はネオルネサンス様式を基調とし、マンサード屋根と呼ばれる大きな屋根と、二階建の中央棟、平屋建ての東西棟からなりますが、建物の中央部は「門」をイメージされており、その左右に平屋建部分(東西棟)を配した左右対称の端正な意匠です。構造は木造(附属の上屋の一部は鉄骨造)建築面積812.86m²、使用材料は、マンサード屋根部分は石綿スレートで、その他の緩勾配部分は金属板瓦棒葺とし、外壁はモルタル塗で石貼り風にみせた重厚感のある洋風建築になっています。

当時の鉄道は1等車、2等車、3等車に分かれていて、駅の待合室も異なっていたそうで、建物の1階エントランスからコンコースに入った右手は旧3等の待合室(現在は某コーヒーショップ)、左手が旧1、2等の待合室(現在は出札室)だったとのこと。2階には貴賓室(現在復元され見学可)と食堂(現在は喫茶店舗)があり、上流階級の社交場として賑わったそうです。2019年(平成31年)には6年にも及ぶ復元工事を終え、大正時代の姿に復元された門司港駅となり、ノスタルジーあふれる駅舎となっています。

改札口よりホームへ向かうと、終着駅ならではの景色が広がっています。レールを使用したホーム上屋を支える骨組みや、レトロな駅名標と温かい色味のペンダントライトが。旅情を感じさせてくれます。

ぜひ門司港周辺のレトロな街並みや関門海峡を楽しみながら、歴史ロマンに触れ合ってみてはいかがでしょうか。

写真は、すべて2023年1月28日に筆者が撮影したものです。



門司港駅舎正面



門司港駅舎左側より臨む



1階コンコース西側より臨む



2階廊下



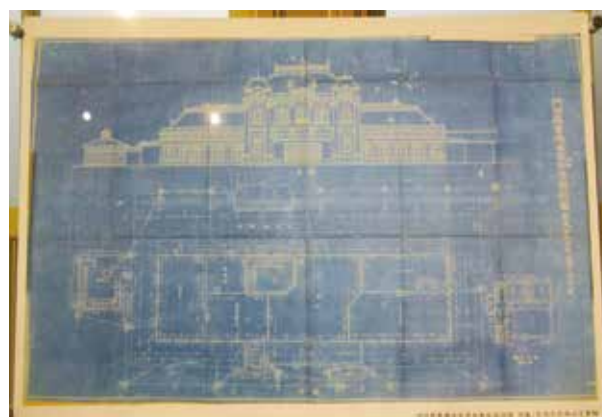
2階貴賓室



駅舎とホームの間の鉄骨架構



平屋部分鉄骨架構



当時の設計図

ホームのレトロな
駅名表示板と照明器具

参考及び引用資料等

- ・文化庁 国指定文化財等データベース
URL : <https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index>
- ・日本遺産 関門ノスタルジック海峡
URL : <https://www.japanheritage-kannmon.jp/>
- ・JR九州旅客鉄道(株)門司港駅ものがたり
URL : http://www.jrkyushu.co.jp/company/mojiko_sta/
* HP内の修理工事記録(動画13分)は必見!!

特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

鎌倉支部 アトリエ空庵 中原 尚代



上記右カット撮影：木奥恵三氏

以前から気にはなっていたものの、中へ入ったことがなかった建物のひとつ
緑に囲まれた敷地に濃いグレーのボリュームが跳ね出し、内部には心地よいR天井あり
1984年SRC造2階建 大高正人による設計
常設展示と収蔵スペース拡充のため、元県営駐車場の敷地に建てられた
2019年 S造部分増築 国設計による改修設計
訪れた時の常設展は「美しい本湯川書房の書物と版画」(2023.1.21-4.16)
本づくりを通してものづくりへの熱い想いに共感したのはこの空間のなせる技か

5



【場所】神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1

【開館時間】午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】月曜日（ただし祝日および振替休日の場合は開館）、展示替期間、
年末年始（12月29日から1月3日）

【コレクション展の観覧料】一般250円、20歳未満と学生150円、65歳以上100円、
高校生100円

*企画展の観覧料は展覧会により異なる

*中学生以下無料

【WEBサイト】<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/annex>

【展示予定】

2023年4月29日 - 2023年9月3日 企画展 吉村 弘 風景の音 音の風景

2023年9月16日 - 2023年11月26日 コレクション展 荘司 福：旅と写生／ドローイング

2023年12月9日 - 2024年2月12日 企画展 イメージと記号1960年代美術の諸相

そごう美術館 SOGO MUSEUM OF ART

横浜支部 株式会社A&A設計室 雨森 隆子

* 「そごう美術館」について

財団法人そごう美術館は、横浜の新しい都市づくりを目指す「みなとみらい21計画」の先駆的役割を担って、1985年9月に開店したそごう横浜店の6階にある。

生活と文化、情報の発信基地となるべく、種々の文化施設を備えたそごう横浜店の店内に、より地域文化に貢献すると同時に、広く世界の文化にも目を向けたいという考えから、百貨店内ではかつてない規模の本格的な美術館の開設を決定し、1985年9月20日、百貨店における博物館としては日本で初めて博物館法に基づく登録を行い（登録番号：神奈川第22号）、開館した。出典：そごう美術館ホームページ



【住所】〒220-8510 神奈川県 横浜市西区高島2-18-1 そごう横浜店 6階（横浜駅東口）

【アクセス】横浜駅東口から徒歩5分

【開館日】そごう横浜店営業日（企画展の最終日などにより異なる場合もある）

【開館時間】10：00～20：00

【休館日】そごう横浜店の休日に準じます。

【入館料金】企画展により異なります。

【WEBサイト】<https://www.sogo-seibu.jp/common/museum/>

横浜市民となり、すでに40数年になります。横浜東口の開発を見てきた市民として、地元の百貨店そごうが、開店から38年目になる事を今更ながら、月日の流れを感じばかりです。

そごう美術館、こんなに便利で身近にある美術館なのですが、意外にご存じない方もあるのではないのでしょうか？

と言う私も、知っていても行かなかったなあと、久しぶりのそごう美術館に、つかの間の癒しを頂きました。



開催中の展覧会



*再興第107回「院展」

2023年3月24日（金）～4月16日（日）

委員会活動

「住・緑・家」運営特別委員会

「住・緑・家」コンペ講演会

「住・緑・家」コンペから設計・監理、そして現在

「住・緑・家」運営特別委員会 委員長 渡邊 靖

2023年1月25日(水)、賀詞交歓会の開催に併せて実施した「住・緑・家」コンペ講演会は、過去の「住・緑・家」コンペで3件の町内・自治会館の設計者に選定された、有限会社伊藤寛アトリエ 伊藤寛様（川崎支部）に講師をして頂き、伊藤氏が建築主と行った打ち合わせの重ね方や、どのように伊藤氏が自信を持って建築主へ設計プランを勧めたのかに焦点を当てた内容でご講演頂きました。

伊藤氏の講演を拝聴し、設計とは、設計思想と設計技術もさることながら、総合的な「人間力」が求められるのであると、改めて考えさせられました。昨今実施コンペが少なくなっている中「住・緑・家」コンペはチャレンジする気持ちをもり立ててくれる貴重なもので、今後も是非継続して行って欲しいというお話も頂きました。

事例 1 新沢睦会町内会館（横浜市戸塚区）

小高い丘の上の町へと続く坂道の途中に建つ平屋の施設。設計料と工事費あわせて1500万円(税別)という予算の中で、設計者と施工者が一体となって体制を組むデザイン・ビルド方式のコンペが行われました。予算は厳しくともその中で如何に空間の質を確保するか、それこそがこの仕事に求められた



た最重要の課題だったと。ここではロフトと会議室と繋げて、舞台の敷席から見下ろしているような立体的な空間構成とした事などをお話し頂きました。



7

事例 2 大豆戸町内会館（横浜市港北区）



木造3階建て、外壁は淡いピンク色のリシン掻き落とし仕上げの建築で、この中には大小3つの会議室が計画されています。大豆戸町内会は世帯数が市内最大で建設委員も大勢いらっしゃいます。ここで伊藤氏が強調されていた事は施主と設計者の信頼関係の取り方の重要性で、それが建築



事例 3 北八朔自治会館（横浜市緑区）

神社の境内にある自治会館。伊藤氏は50年あるいは100年後も陳腐にならない外観であることが重要だという観点に立ち、きりっとした印象の6寸勾配の切妻屋根の平屋の建築を提案。最終的には予算の関係で外壁の白壁を鉄板小波板に変えたり、内部天井に張る予定だった杉板張りをやめて構造現しにしたが、当初の意図とは違ってきても建築の力を失わないように注意を払ったとのことで、結果的に外観も落ち着いた佇まいになり、内部空間も力強くなったとのこと。



委員会活動

「住・緑・家」運営特別委員会

横須賀市「森崎リアンシティ自治会館」竣工見学会

「住・緑・家」運営特別委員会 委員 黒岩 武文

森崎リアンシティは横須賀市の高台、市立高校の跡地にできた新しい住宅の立ち並ぶ新興住宅地で、約200の若い世帯が住む街です。その街並みの中で少し小ぶりの建物が「森崎リアンシティ自治会館」で、令和2年に実施された「住・緑・家」設計者選定コンペにより選出された合同会社team AeO一級建築士事務所（県西支部）の設計により完成しました。竣工見学会は1月28日（土）13：00～15：00の間、会員へ向けて実施され、当日は設計者として事務所代表の徳家 統様と徳家 明美様によりコンペ時から完成に至るまでの経緯と合わせ建物についての丁寧な説明がなされました。

現地に着いて感じた建物の規模もコンペ案を振り返ると意図されたものと理解できます。コストや周囲への配慮により抑えられた階高や機能の集約によるコンパクト化は、階段の段数も少なく移動距離も短くなるため「子ども」や「高齢者」など弱者といわれる使い手の安全性も向上しているように思われます。2階の集会室はコンペ案での現しの小屋組みを無くし天井の高さが確保されるよう修正がされていました。また、コスト調整のためのVE・建物規模縮小を経てもコンペ案で提案されていた「縁側⇄土間⇄広場」のつながる・ひろがる空間は実現されており、地域・世代間の交流の中心と

しての役割を果たしていくように思われます。

設計者の説明の中で『繊細さより、わかりやすい・親しみやすい』ということをお話しされました。この自治会館を言葉で表そうとするとその通りだったと思います。コンペでの選定は審査段階の講評委員会での評価点はもちろんのこと、面談等をとおして設計者の意識が自治会の方々に伝わったことも選出の大きな理由の一つだったことでしょう。昨今の建築業界を取り巻く状況が変わっていく中、この物件もコスト縮小のため設計変更が必要となり、自治会との綿密な打ち合わせにより実施設計においてコンペ案の修正が行われました。設計者の変更に取り組まれる真摯な姿勢と自治会との間に築かれた信頼関係も時間がかかりながらも完成した大きな原動力の一つだったと感じます。

また、自治会館前が幼稚園の送迎バスの発着場になっており、近所の親子が毎日集う場所になっているそうです。これから年を重ねる子どもたちが、ふるさとの風景として心に刻まれる建物であることが想像できます。これもひとつの自治会館の持つ役割かと思います。



©Toshi photo



賛助会だより

「Architectural Productsで社会を幸せにする会社。」

YKK AP株式会社 神奈川支社 開発営業部 秋山 宏樹

タイトルは弊社のパーパスで社名でもある「AP (Architectural Products)」にこだわり続けながら事業を通して幸せな社会をつくることを自らの存在意義として、事業に取り組む姿勢を表しています。

これは創業者の基本精神「善の巡環」と二代目の経営理念「更なるCORPORATE VALUEを求めて」の企業精神を基盤として策定したもので、社員一人一人が意識しながら日々の活動に邁進しています。

自己紹介になりますが、現在は開発営業部で設計事務所・ビルダー・デベロッパーの皆様へ新商品のご提案を中心に市場及び行政動向の情報をご提供させていただいています。

また弊社の技術の総本山でもある富山県黒部の製造所にて素材から製品に至るまでの過程や黒部の自然エネルギーを最大限に生かしJIA環境建築賞など数々の環境賞を受賞している施設「パッシブタウン」そして、プロユーザー様の課題を共に解決していく技術提案施設「パートナーズサポートスタジオ」の視察研修を企画しご提案しています。

現場を実際に確認することでYKK APの“モノづくり（商品）”にこだわり続ける姿勢をより理解していただくことができ毎年多くの皆様にご参加いただいております。

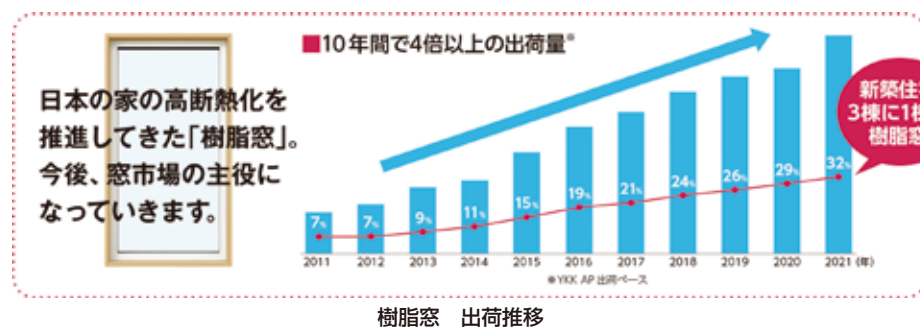
北陸の食を堪能しながら弊社社員との懇親を深め、良好な関係を構築していただきたいと思います。

現在、ご愛顧いただいております樹脂窓は2009年のAPW330発売以来13年間に「防火窓仕様」「ツーアクション窓」「外部木目仕様」「APW430トリプルガラス」「APW431大開口スライディング」「内外ブラック色」など多くのご要望をいただきながら多種多様化させてまいりました。

弊社は樹脂窓を1980年から生産・販売しており、その技術力を結集させて生まれたのがAPWシリーズになります。

品川の「体感ショールーム」は実際に樹脂窓やアルミ樹脂複合窓の『断熱』『遮熱』『通風』『遮音』『結露』を体感そして可視化できる施設となっていますのでぜひご来館ください。

今後とも皆様のご商売のお役立ちにつながるご提案をしてまいりますので宜しくお願いいたします。



APW330 木目仕様

YKK AP株式会社 神奈川支社

〒220-8131横浜市西区みなとみらい2-2-1横浜ランドマークタワー31F

賛助会だより

当社が考える新たな価値の必要性

ケイミュー株式会社 神奈川営業所 宇佐美 壽啓

ケイミュー株式会社 神奈川営業所の宇佐美 壽啓と申します。

当社は、屋根材・外壁材・雨といの外装材をトータルに扱う国内唯一の企業として設立いたしました。設立以来、軽い屋根材・外壁材による建物の耐震性向上や、無機塗装や光触媒技術による高耐候・長寿命化など、独自技術を活かした製品やサービスの提供を通じて、日本の住環境の向上に取り組んできました。



今、社会はまさに大きな変化の時代を迎えています。頻発する地震に加えて、地球温暖化の影響による自然災害が増加し、被害も激甚化しています。さらには、新型コロナウイルスによる感染症は、誰も予想しなかった危機を世界中にもたらしました。一方、日本国内においては、高齢化社会の到来や人口減少による労働力不足の深刻化など、様々な問題が生じています。

このような大きな社会変化に対応すべく、当社は『安全・安心』『美しさと長寿命』『職人不足』『環境配慮』という社会課題にフォーカスし、それらの解決に向けた製品や技術の革新に取り組んでいます。脱炭素化に向けては、2050年のカーボンニュートラル達成を目指し、グリーンビジョンを掲げて様々な取り組みを進めています。

当社は20周年の節目を機に、タグライン『未来を、いま、選ぼう』を掲げ、スタートしました。これからも新しい価値を創造し社会貢献を果たす企業を目指して、社員一丸となり取り組んでまいります。さらには、国内の戸建住宅だけでなく、非住宅や海外といった新たなマーケットに果敢に挑戦し、社会貢献の領域を日本から世界へと広げてまいります。



汚れが落ちるだけでなく、空気も浄化する
環境貢献型外壁材：光セー



地震・台風・豪雨に強い防災屋根：ROOGA



省施工。軽量化を図った環境配慮型あまとい
：Chic_Line



変化を楽しんで頂きたい環境配慮型新素材
：SOLIDO

ケイミュー株式会社 神奈川営業所
〒221-0056横浜市神奈川区金港町2-6 横浜プラザビル3階

KAWASAKI SHIBU NEXT GENERATION

～川崎支部 ネクスト ジェネレーション～

川崎支部長

(株)多摩設計 岩田 崇

11 本年5月の総会にて川崎支部長1期目の2年間を終えることとなります。就任当時を振り返ると、最初に着手したのは「人を集める」ためのスカウト活動でした。まずは私自身の考えを整理して目指すべき「支部のカタチ」をまとめた資料を持ってキーマンと思える会員一人一人の元へ足を運びました。当時はコロナ禍の真っただ中。今考えると少々滑稽にも思えますが19時以降に飲食店でお酒を飲めない時代でしたから17時スタートで口説きたい会員の元へ駆けつけて一杯御馳走し、私の話を聞いてもらいながら親睦を深めたこともありました。

そうした地道な声掛けにより集結した新役員メンバーたちが中心になり力を発揮して行われた企画が昨年11月初旬に行われた、かわさき市民祭2022での「未来のものづくり応援プロジェクト・夢のおうちのエコバック作り」です。どのようなイベントかと申しますと、市民祭に訪れた子ども達を対象として、我々が用意した布地のエコバックに夢のおうちを描いてもらい、それをそのままプレゼントするという企画です。写真のように川崎支部のブースに机を並べて、布地のエコバックとアイロン掛けをすると色が落ちなくなる特殊なクレヨンを用意しました。そして集まった子供たちに好きなように

絵を描いてもらいました。中には「おうち」ではなく全く別で自由な絵をかくお子さんもいらっしゃいましたがそれはご愛嬌。子どもたちに好きに絵を描くと言うものづくりの一端に触れて楽しんでもらえたのであれば大成功かと思います。土日含めた3日間の開催でしたが予想以上の反響で現場担当のメンバーは皆、長時間立ちっぱなしの対応でした。更にこの企画の面白い点は作成されたエコバックを写真撮影して川崎支部のブログに「作品ギャラリー」として掲載した点です。参加された方がブログにアクセスしてくれることで市民祭の現場に留まらずインターネットを通じて事務所協会川崎支部を市民の皆さんに知って頂くことが出来たのではないかと考えております。この企画は本年も開催し川崎支部の名物企画として継続できればと思います。



海辺と南アルプスで出会った山岳書の図書館

榊原事務所 榊原 久雄

2年ほど前、山陰本線に沿って旅をした時、吉永小百合主演の夢千代の舞台になった湯村温泉入口の浜坂という駅で乗り換えの時間を利用して、街中をぶらりとすると、駅前に加藤文太郎の銅像が立っていた。新田次郎の「孤高の人」のモデルとなった登山家である。若き日、山登りに興味を持ち、彼の著作「単独行」の読者であった私は記念図書館があるというので尋ねてみた。彼に関する資料は勿論のこと、山の書物が数千冊所蔵されていた。建物は北アルプスをモチーフとしており、設計は藤田皓一のGA設計。これほど山岳図書があるとは思っていなかった。そして昨年、久しぶりに南アルプスを眺めたくて山梨県の夜叉神峠を登った。足の劣化進行の為、コースタイム1時間を2時間かけて登り、北岳を始めとして、南アルプスの山脈を堪能した。帰途、芦安温泉郷を歩いてみると以前雑誌で紹介されていた芦安山岳館を見かけ、写真家であ

り、登山家でもある石川直樹氏の作品展示中であつたので、閉館間際入館した。石川氏の作品が見事であつたのは勿論のこと、迂闊にも南アルプスにも山岳ガイドの伝統があつたことを知つたことである。北アルプスについては上条嘉門次、小林喜作等山岳登山史に登場する山岳案内人たちの名前は少々知っていたのだが、南アルプスについては全く無知であつた。多くは深沢という名字の方が多く、その方々の資料も展示されている。そしてここにも数千冊の山岳書が所蔵されている。係りの方に知識もなく思わず日本一の山岳図書館ではないですかと口走つた次第。設計は丹下都市建築設計である。山歩きをし、芦安温泉に入り、コーヒーを飲みながら、山の書物のページをゆったりめくる時間を楽しみに是非いかれてはいかがかと推奨する次第です。後日知つたことですが寸又峡温泉に南アルプス山岳図書館があり、蔵書数約9千冊ということです。

12



加藤文太郎記念図書館



夜叉神峠



南アルプス芦安山岳館



南アルプス芦安山岳館（内部）

～秦野支部の発信力の強化へ～

秦野支部長 (株)コイズミー級建築士事務所 小泉 学

コロナ禍も落ち着きを見せ、各種事業やイベント等が開催され、当支部活動も徐々に復活の兆しを見せ始めました。

例年、秦野支部では、市の事業や商工イベントに協力・協賛させて頂いております。

市民の日での協会PRと住まいの相談会、秦野商工まつりでの建築よろず相談、市主催の木造耐震相談業務への協力等が主たるものとなります。

市内に交通の利便性の良い大きなイベントスペースが無いこと、準備を含めた人員の確保、

web会議やネット関連の条件が整わない等の理由で当支部では「建築しごと展」の開催が長年の懸案事項でした。

そんな中、本年度は急遽市民の日の開催が決定され、例年の相談会と併せて「建築しごと展」を開催することと致しました。

準備期間も短く試行錯誤の中での開催でしたが、平塚支部様からご協力いただき、耐震補強金物の現寸模型の陳列や建物の周期と免震効果の実験模型での実演、支部会員の建築作品パネ

ル展示やパンフレットによる仕事の紹介や協会・支部のPRを実施しました。

人出も多く、相談会や仕事展目当てではない一般の方々にも建築に関して興味を持って頂けたように思います。

多くの課題も見つかりミニ「建築しごと展」となってしまいましたが、今後は様々な検討や模索を繰り返しながら、上記の支部のイベントと併せて、仕事展、当支部会員の発信を充実させていきたいと思っています。



新入会員のご紹介

横浜支部

株式会社イケ建築事務所 〒220-0023横浜市西区平沼1-40-9 パークハイツ907 TEL.045-324-1755/FAX.045-324-1760	池谷 透
森山孝治建築構造設計一級建築士事務所 〒223-0062横浜市港北区日吉本町1-16-17 マイキャッスル日吉303号 TEL.045-563-9855/FAX.045-563-9856	森山 孝治
一級建築士事務所クレヨン 〒240-0005横浜市保土ヶ谷区神戸15-6 リブリ・横浜104 TEL.090-7536-9823	平野 淳也
株式会社D. S. K 〒231-0023横浜市中区山下町31 ベイサイド上田ビル3階 TEL.045-264-4253/FAX.045-264-4254	黒瀬 浩充
合同会社耐震設計一級建築士事務所 〒222-0033横浜市港北区新横浜3-17-12 アルファスペース新横浜3階 TEL.045-477-2505	黒田 正治

川崎支部

合同会社コンベックス一級建築士事務所 〒211-0068川崎市中原区小杉御殿町2-66-1 RS武蔵小杉2階 TEL.044-386-2440/FAX.044-386-2440	小山 智弘
鎌倉設計 〒211-0035川崎市中原区井田3-32-26 TEL.045-947-3677/FAX.045-947-3678	鎌倉 守登

湘南三浦支部

おいかわふみお建築室 〒240-0113三浦郡葉山町長柄984-10 TEL.090-5416-9864	及川 史朗
CAN 一級建築士事務所 〒249-0008逗子市小坪3-14-2 メゾン披露山 I-1号室 TEL.090-5604-9142	篠崎 佳奈
空有アーキテクト一級建築士事務所 〒240-0116三浦郡葉山町下山口385-5 TEL.046-890-5008/FAX.046-890-5008	谷野 太清

藤沢支部

株式会社エスディダブル一級建築士事務所 〒251-0024藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル7階 TEL.0466-53-9318/FAX.0466-53-9319	角田 浩
---	------

鎌倉支部

一級建築士事務所株式会社アット・ピース・アーキテクト 〒248-0031鎌倉市鎌倉山2-18-16 TEL.0467-53-8679	島田 浩由
--	-------

退会者

横浜支部

寺田一級建築士事務所	寺田 稔
株式会社オール一級建築士事務所	玉永 慎一
千代田テクノエース株式会社	坂本 昌祥
株式会社MM設計事務所	中村 治

川崎支部

ヒットデザイン建築設計事務所	辻 瞳
----------------	-----

横須賀支部

若命一級建築設計事務所	若命 陽子
菊池建設株式会社一級建築士事務所	金子 透
株式会社斎藤工務店一級建築士事務所	草野 康仁

藤沢支部

株式会社広国設計	広江 国彦
----------	-------

秦野支部

澤田一級建築士事務所	澤田 晃一
------------	-------

厚木支部

船戸構造設計	船戸 義郎
--------	-------

座間支部

アネストデザイン一級建築士事務所	吉田 祐子
------------------	-------

相模原支部

小林設計事務所	小林 忠志
株式会社中島建設一級建築士事務所	中島 一弘
株式会社草野建築設計事務所	草野 武

県西支部

竹広林業株式会社一級建築士事務所	加藤 一郎
有限会社孝創建業事務所	勝俣 孝二

変更

横浜支部

株式会社くらしの相談室 (事務所名変更)旧くらしの相談室 一級建築士事務所	
--	--

ジャスト一級建築士事務所(指定代表者変更) 角田 賢明

一級建築士事務所株式会社T. D. S (指定代表者変更) 大田 弘士

川崎支部

一級建築士事務所 神田剛建築設計事務所
(所在地変更) 〒213-0013川崎市高津区末長1-40-1-A104

湘南三浦支部

二級建築士事務所有限公司ニッペイ (FAX廃止)

株式会社REAL一級建築士事務所 (TEL変更、FAX廃止) TEL.046-854-5121

座間支部

株式会社エフプランニング一級建築士事務所
(TEL、FAX、指定代表者変更)
TEL.042-711-8727/FAX.042-711-8729 吉田 将也

東亜レジン株式会社一級建築士設計事務所(指定代表者変更) 高橋 綱康

相模原支部

株式会社神奈川建築確認検査機関一級建築士事務所
(指定代表者変更) 小野沢 浩岳

賛助会新入会員

株式会社ジーエーシーサポート
株式会社リキケン
株式会社西洋コンサルティング
株式会社三菱地所住宅加工センター

賛助会退会者

アンデン東京
(株) ハウスアンドランド
積水テクノ成型 (株)
株式会社日立ビルシステム

会 勢

令和5年4月1日現在					
支部名	期首	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	254	256	2	0	2
川 崎	107	108	1	0	1
横 須 賀	49	49	0	0	0
湘 南 三 浦	16	19	3	0	3
藤 沢	36	36	0	0	0
鎌 倉	42	43	1	0	1
茅ヶ崎寒川	15	15	0	0	0
平 塚	22	22	0	0	0
秦 野	13	13	0	0	0
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大 和 綾 瀬	18	18	0	0	0
厚 木	30	30	0	0	0
座 間	11	11	0	0	0
海 老 名	15	15	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	61	61	0	0	0
県 西	37	37	0	0	0
合 計	738	745	7	0	7
賛 助 会 員	91	95	4	0	4

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

お彼岸に、長野県諏訪市に立ち寄る事があり、初めて諏訪大社を参拝しました。諏訪大社は、諏訪湖の周辺に4箇所の神社、本宮、前宮、秋宮、春宮で構成されています。自動車では16km位の経路です。パワースポットとしても有名です。4社を参拝し、御朱印も頂きました。経路途中には藤森照信氏の作品、神長官守矢史料館、高過庵、低過庵、空飛ぶ泥舟があり、そちらも見学してきました。急ぐと3時間で廻る事ができます。

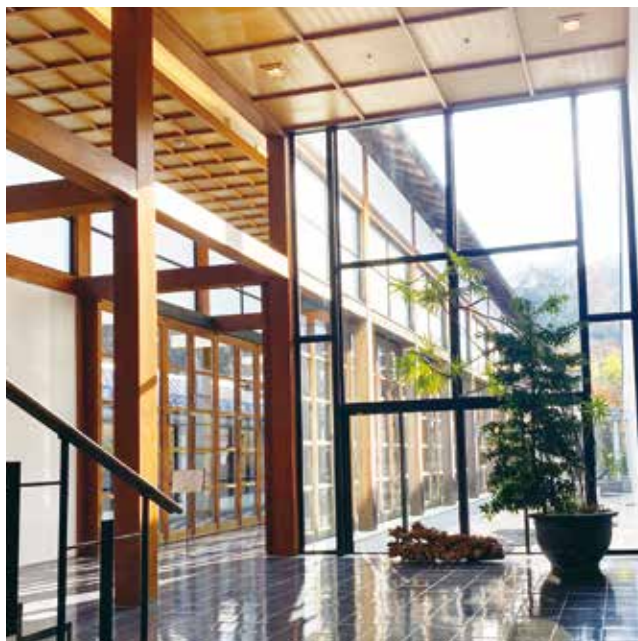


(川崎支部 株式会社創信建築事務所 森本 和樹)

KANAGAWA 令和5年5月号(通号444号)

発行 令和5年5月1日(奇数月1日発行)
発行人 白井 勇
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
TEL. 045-228-0755/FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 杉本 勝郎 小松 正道
・ 会報誌編集特別委員長 小泉 厚
・ 会報誌編集特別副委員長 加藤 一郎
・ 会報誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆 森本 和樹
・ 戸井田 顕 中原 尚代 仙波 弦
・ 事 務 局 小林 恵美



今月の表紙

箱根町：強羅花壇

さて、この中に四角形はいくつ隠れていますか？
という問いに対して、最新のAIならばほんの数秒で答えをはじき出してくれるでしょう。

これを人が数えるなんて気が遠くなりますね…

まあこの廊下を通る時はそんな気持ちで通る人は少ないかもしれません。

効率や目に見える成果を追い求め過ぎて大切なものを忘れそうになっていませんか？

特別な時間や気持ちで過ごす時に（この廊下で過ごすわけではなく）この廊下と言う装置のお陰でその先にあるモノ・コトへの期待にワクワクしたり、日々の喧騒から逃れて落ち着きを取り戻すための大切な緩衝帯となっているのかもしれない。

『廊下』、住宅からは無駄の象徴のように忌み嫌われ、姿を消してきていますが、特別な場所には存在感を示し続けているように思います。

（表紙写真・文章／加藤 一郎）



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association